

報告者：小野敏夫

Cグループ“知り合い隊”リーダーの小野です。前回に引続き訪問させて頂いたある企業の例を紹介させて頂きます。この企業は従業員数が100名程ですから、大田区の中では大きい会社です。

例によってアポイントを取るのは苦労致しました。ITコーディネータ協会から送ったご挨拶のメールは受信拒否されて届かなかったところです。電話アタックを10回以上も行いました。電話を受ける女性とは電話で親しくなりました。その都度会議中であったり、出張中であったりして直接話しが出来ません。それでも要件をお伝えしていましたが、あきらめ掛かっていた矢先その社長の方からお電話を頂戴致しました。要件をお伝えし、お会いしたい旨をつげましたら、1ヶ月先まで予定がつかまっていてスケジュールが取れないとのこと、それでも明後日外出予定の前30分ぐらいなら会っても良いということになりました。気象庁の予報によると丁度その時刻は台風が通過しているところです。

当日台風は予定よりも早く通過していました。お伺いしITコーディネータ活動の説明をさせて頂いた後、お話をお聞きしますと世界の最先端の技術を持った、オンリーワンの企業です。取引先は欧米企業が主で産業技術総合技術研究所や東京大学生産技術研究所などと一緒に研究開発をしています。事業ドメインもはっきりしていて経営戦略も明確です。カンファレンスへの参加をお願いしプログラムの説明をしましたが、この企業として得るものが無いとのこと、また10月末まで社長が海外での国際会議へ出張中であるとのことでした。

約束の30分が過ぎてしまいました。そろそろおいとまをしようと思すと、社長が工場を見て行くかと言います。時間は大丈夫ですかということと都合を付けるとのことです。工場の中は最先端の機密事項ばかりでした。中国に生産させているものは、インターネットを通してリアルタイムで品質管理をしています。品質の低下が見える場合は即刻中国の生産をストップさせる仕組みになっているとのことでした。ここまで見せていいのかというくらい全部を見せて頂きました。あっという間に2時間が過ぎてしまいました。社長の出かける時間も限界を過ぎていたようです。おいとまのご挨拶もそこそこになりましたが、最後に「良い提案を持ってきたらいくらでも払いますよ」とのお言葉。カンファレンスの実践対象企業にはなりませんでしたが、今後は是非お付き合いしたい企業です。